

## 第2編 各教科及び特別活動における評価規準に盛り込むべき事項等

### 第1章 国語

#### 第1 教科目標、評価の観点及びその趣旨等

##### 1 教科目標

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

##### 2 評価の観点及びその趣旨

国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する認識を深め、国語を尊重しようとする。	目的や場面に応じ、適切に話したり聞いたり話し合ったりして、自分の考えを豊かにしている。	相手や目的、意図に応じ、筋道を立てて文章を書いて、自分の考えを豊かにしている。	目的や意図に応じ、様々な文章を読んだり読書に親しんだりして、自分の考えを豊かにしている。	伝統的な言語文化に親しんだり、言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し使ったりするとともに、文字を正しく整えて速く書いている。

※ 国語科では、学習指導要領の内容の示し方やこれまでの実践を踏まえ、「話す・聞く能力」「書く能力」「読む能力」を、学習指導要領の内容のまとまりに合わせ、基礎的・基本的な知識・技能と「思考・判断・表現」とを合わせて評価する観点として位置付けた。そこで、上記のように、「国語への関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」「読む能力」「言語についての知識・理解・技能」の5観点を設定した。

##### 3 内容のまとまり

国語科においては、学習指導要領の内容の「A 話すこと・聞くこと」、「B 書くこと」、「C 読むこと」を内容のまとまりとした。

〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕については、「A 話すこと・聞くこと」、「B 書くこと」、「C 読むこと」の各内容のまとまりの中に関連する事項を含めた。

#### 第2 内容のまとまりごとの評価規準に盛り込むべき事項及び評価規準の設定例

##### I 第1学年

##### 1 学年目標

- (1) 目的や場面に応じ、日常生活にかかわることなどについて構成を工夫して話す能力、話し手の意図を考えながら聞く能力、話題や方向をとらえて話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えをまとめようとする態度を育てる。
- (2) 目的や意図に応じ、日常生活にかかわることなどについて、構成を考えて的確に書く能力を身に付けさせるとともに、進んで文章を書いて考えをまとめようとする態度を育てる。
- (3) 目的や意図に応じ、様々な本や文章などを読み、内容や要旨を的確にとらえる能力を身に付けさせるとともに、読書を通してものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。

## 2 第1学年の評価の観点の趣旨

国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する認識を深め、話したり聞いたり書いたりして考えをまとめ、読書を通してものの見方や考え方を広げようとする。	目的や場面に応じ、構成を工夫して話したり、意図を考えながら聞いたり、話題や方向をとらえて話し合ったりしている。	目的や意図に応じ、構成を考え、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして文章に書いている。	目的や意図に応じ、様々な本や文章などを読み、内容や要旨を的確にとらえて、自分のものの見方や考え方を広くしている。	伝統的な言語文化に触れたり、言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し使ったりするとともに、文字を楷書で書き、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書いている。

## 3 学習指導要領の内容、内容のまとめりごとの評価規準に盛り込むべき事項及び評価規準の設定例

### (1) 「A 話すこと・聞くこと」

#### 【学習指導要領の内容】

(1) 話すこと・聞くことの能力を育成するため、次の事項について指導する。

ア 日常生活の中から話題を決め、話したり話し合ったりするための材料を人との交流を通して集め整理すること。

イ 全体と部分、事実と意見との関係に注意して話を構成し、相手の反応を踏まえながら話すこと。

ウ 話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、相手に分かりやすい語句の選択、相手や場に応じた言葉遣いなどについての知識を生かして話すこと。

エ 必要に応じて質問しながら聞き取り、自分の考えとの共通点や相違点を整理すること。

オ 話し合いの話題や方向をとらえて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめること。

・ 関連する〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕を含む。

(2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。

ア 日常生活の中の話題について報告や紹介をしたり、それらを聞いて質問や助言をしたりすること。

イ 日常生活の中の話題について対話や討論などを行うこと。

#### 【「A 話すこと・聞くこと」の評価規準に盛り込むべき事項】

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> <li>目的や場面に応じ、構成を工夫して話したり、意図を考えながら聞いたり、話題や方向をとらえて話し合ったりしようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活の中から話題を決め、話したり話し合ったりするための材料を人との交流を通して集め整理している。(ア)</li> <li>全体と部分、事実と意見との関係に注意して話を構成し、相手の反応を踏まえながら話している。(イ)</li> <li>話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、相手に分かりやすい語句の選択、相手や場に応じた言葉遣いなどについての知識を生かして話している。(ウ)</li> <li>必要に応じて質問しながら聞き取り、自分の考えとの共通点や相違</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音声の働きや仕組みについて関心をもち、理解を深めている。(イ(7))</li> <li>語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話したり聞いたりしている。(イ(イ))</li> <li>話したり聞いたりして、事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、話の中の語彙に関心をもっている。(イ(ウ))</li> <li>単語の類別について理解し、指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをもつ語句などに注意して話したり聞いたりしている。(イ(エ))</li> </ul>

	点を整理している。(エ) ・話合いの話題や方向をとらえて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめている。(オ)	・比喩や反復などの表現の技法について理解して、話したり聞いたりしている。(イ(オ))
--	--	--

- ※ 評価規準に盛り込むべき事項は、中学校学習指導要領・国語の「2 内容」に示す「A 話すこと・聞くこと」、「B 書くこと」、「C 読むこと」の(1)の指導事項及び〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕に示す事項(以下、指導事項等)に基づき作成している。
- ※ 指導事項等と評価規準に盛り込むべき事項及び評価規準の設定例との対応関係を明示するため、評価規準に盛り込むべき事項及び評価規準の設定例の末尾には、該当する指導事項等の記号を( )内に示している。(「国語への関心・意欲・態度」を除く。)
- ※ 上述の注記については、すべての「内容のまとめり」においても同様である。

【「A 話すこと・聞くこと」の評価規準の設定例】

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
ア 日常生活の話題について報告する言語活動を通した指導		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたいことが相手によく分かるように、工夫して報告しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な人への取材を通して体験や知識などの材料を集め、報告の目的を考えて整理している。(ア)</li> <li>・伝えたいことを分かりやすく報告するために、話をどのように組み立てるかを考えている。(イ)</li> <li>・話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、相手に分かりやすい語句の選択、相手や場に応じた言葉遣いに注意して報告している。(ウ)</li> <li>・報告を聞いて質問し、相手が伝えたいことを確かめたり、足りない情報を聞き出したりしている。(エ)</li> <li>・報告の内容について話し合い、自分の考えをまとめている。(オ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音声の働きや仕組みについて注意し、目的や場面に応じて適切な音量や抑揚などで話している。(イ(フ))</li> <li>・報告したい内容を適切に伝えるために、語句を選んでいる。(イ(イ))</li> <li>・分かりやすい報告をするために、指示語や接続詞などを適切に使っている。(イ(エ))</li> <li>・必要に応じて反復などの表現を用いて重要な点を強調し、報告している。(イ(オ))</li> </ul>
イ 日常生活の話題について討論する言語活動を通した指導		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いの考えの共通点や相違点を整理し、建設的に話し合おうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人への取材を通して体験や知識などの材料を集め、自分の考えや意見を明確にしている。(ア)</li> <li>・意見を述べる上で、事実や意見をどのように配列すると分かりやすいかを考えて話を構成し、文末表現などに注意するとともに根拠を明確にして話している。(イ)</li> <li>・聞き手の受け止め方や理解の状況に注意して話している。(イ)</li> <li>・話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、相手に分かりやすい語句の選択、相手や場に応じた言葉遣いに注意して話している。(ウ)</li> <li>・相手の考えを聞いて、自分の考え</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の話の中に出てくる、事象や行為などを表す多様な語句について関心をもち、意味を確かめながら聞いている。(イ(ウ))</li> <li>・指示語や接続詞などを適切に使って、自分の考えを分かりやすく話している。(イ(エ))</li> </ul>

	との共通点や相違点を整理している。(エ) ・話合いの話題や方向をとらえ、自分の考えと比較しながら相手の話を聞き、自分の考えをまとめている。(オ)
--	---

- ※ 評価規準の設定例は、指導事項等に「2 内容」(2)に示す言語活動例を組み合わせることを基本として例示したものである。
- ※ 評価規準の設定例は、できるだけ多様な指導事項等を取り上げて例示している。各学校において単元の評価規準を設定する際は、生徒の実態や年間指導計画等の見通しの基に重点化して取り上げることとなる。
- ※ 上述の注記については、すべての「内容のまとめり」においても同様である。

## (2)「B 書くこと」

### 【学習指導要領の内容】

- (1) 書くことの能力を育成するため、次の事項について指導する。
- ア 日常生活の中から課題を決め、材料を集めながら自分の考えをまとめること。
  - イ 集めた材料を分類するなどして整理するとともに、段落の役割を考えて文章を構成すること。
  - ウ 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。
  - エ 書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にすること。
  - オ 書いた文章を互いに読み合い、題材のとらえ方や材料の使い方、根拠の明確さなどについて意見を述べたり、自分の表現の参考にしたりすること。
    - ・ 関連する〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕を含む。
- (2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。
- ア 関心のある芸術的な作品などについて、鑑賞したことを文章に書くこと。
  - イ 図表などを用いた説明や記録の文章を書くこと。
  - ウ 行事等の案内や報告をする文章を書くこと。

### 【「B 書くこと」の評価規準に盛り込むべき事項】

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目的や意図に応じ、構成を考え、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして文章に書こうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常生活の中から課題を決め、材料を集めながら自分の考えをまとめている。(ア)</li> <li>・ 集めた材料を分類するなどして整理するとともに、段落の役割を考えて文章を構成している。(イ)</li> <li>・ 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書いている。(ウ)</li> <li>・ 書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にしている。(エ)</li> <li>・ 書いた文章を互いに読み合い、題材のとらえ方や材料の使い方、根拠の明確さなどについて意見を述べたり、自分の表現の参考にしたりしている。(オ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して書いている。(イ(イ))</li> <li>・ 文章を書いて、事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、文章の中の語彙について関心をもっている。(イ(ウ))</li> <li>・ 単語の類別について理解し、指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをもつ語句などに注意して書いている。(イ(エ))</li> <li>・ 比喩や反復などの表現の技法について理解して書いている。(イ(オ))</li> <li>・ 小学校学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(ウ(イ))</li> </ul> <p>[書写]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書いている。(ア)</li> </ul>

		・漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書いている。(イ)
--	--	------------------------------

【「B 書くこと」の評価規準の設定例】

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
ア 関心のある芸術作品について、鑑賞したことを文章に書く言語活動を通した指導		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・関心のある芸術作品について、自分の印象や感動を分かりやすく文章に書こうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでに親しんだ芸術作品の中から対象を決め、様々な角度からそのよさについて考えている。(ア)</li> <li>・作品のよさを挙げて要素ごとに整理し、段落の役割を考えて文章を構成している。(イ)</li> <li>・作品のよさについて、表現の仕方、作り手の思いや見方、受けた印象や感動などを明確にして書いている。(ウ)</li> <li>・自分の考えた作品のよさやその根拠が相手に伝わるかどうかを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にしている。(エ)</li> <li>・書いた文章を互いに読み合い、作品のとらえ方や根拠の明確さなどについて意見を述べたり、自分の表現の参考にしたりしている。(オ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品のよさを表す語句を集め、文脈に応じて使い分けている。(イウ)</li> <li>・作品のよさを書き表すのに、比喻や反復などの表現の技法を、必要に応じて適切に用いている。(イオ)</li> </ul>
イ 図表を用いた説明の文章を書く言語活動を通した指導		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・図表を用いた説明の効果などを考え、分かりやすい文章を書こうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活の経験等の中から、図表を用いて説明するのにふさわしい事柄を見付け、その内容を簡単にまとめている。(ア)</li> <li>・図表を示して説明する部分を意識しながら、段落を組み立てている。(イ)</li> <li>・説明の必要な理由や目的、説明するものの概要を明確にして書いている。(ウ)</li> <li>・説明と図表とが対応しているか、図表が説明の助けとなっているかを確認し、読みやすく分かりやすい文章にしている。(エ)</li> <li>・書いた文章を互いに読み合い、図表の効果や説明の分かりやすさなどについて意見を述べたり、自分の表現の参考にしたりしている。(オ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図表を説明するとき指示語や接続詞を工夫して使っている。(イエ)</li> <li>・学年別漢字配当表に示されている漢字を適切に使って文章を書いている。(ウイ)</li> </ul> <p>[書写]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メモをとる際に、漢字の行書の基礎的な書き方を生かしている。(イ)</li> </ul>
ウ 行事等の案内をする文章を書く言語活動を通した指導		

<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事等の案内をする文章の形式や役割を意識して、簡潔に文章を書こうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活の中から案内をするのにふさわしい行事等を決め、案内すべき内容を簡単にまとめている。(ア)</li> <li>・相手に案内すべき内容を、相手を誘う言葉と行事等の概要とに分けている。(イ)</li> <li>・行事等を案内する相手や目的、行事等の概要を明確にして書いている。(ウ)</li> <li>・相手が来なくなるか、また相手に行事等の概要が伝わるかどうかを確かめ、読みやすく分かりやすい文章にしている。(エ)</li> <li>・書いた文章を互いに読み合い、相手を誘う言葉の効果、行事等の概要の分かりやすさなどについて意見を述べたり、自分の表現の参考にしたりしている。(オ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・案内をする文章に特有の語句や慣用的な表現について、辞書でその意味を調べて使っている。(イ(イ))</li> </ul> <p>[書写]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・件名と本文との字の大きさを変えるなど、漢字、仮名、数字のバランスを考えて読みやすく整った楷書で書いている。(ア)</li> </ul>
---	---	---

### (3) 「C 読むこと」

#### 【学習指導要領の内容】

(1) 読むことのできる能力を育成するため、次の事項について指導する。

ア 文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、理解すること。

イ 文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。

ウ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。

エ 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつこと。

オ 文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広くすること。

カ 本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取ること。

・ 関連する〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕を含む。

(2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。

ア 様々な種類の文章を音読したり朗読したりすること。

イ 文章と図表などとの関連を考えながら、説明や記録の文章を読むこと。

ウ 課題に沿って本を読み、必要に応じて引用して紹介すること。

#### 【「C 読むこと」の評価規準に盛り込むべき事項】

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や意図に応じ、様々な本や文章などを読み、内容や要旨を的確にとらえて、自分のものの見方や考え方を広くしようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、理解している。(ア)</li> <li>・文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりしている。(イ)</li> <li>・場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てている。(ウ)</li> <li>・文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもっている。(エ)</li> <li>・文章に表れているものの見方や考</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読して、古典特有のリズムを味わいながら、古典の世界に触れている。(ア(ア))</li> <li>・古典には様々な種類の作品があることを知っている。(ア(イ))</li> <li>・語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して読んでいく。(イ(イ))</li> <li>・文章を読んで、事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、文章の中の語彙について関心をもっている。(イ(ウ))</li> </ul>

	<p>え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広くしている。(オ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取っている。(カ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単語の類別について理解し、指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをもつ語句などに注意して読んでいる。(イ(エ))</li> <li>比喩や反復などの表現の技法について理解して読んでいる。(イ(オ))</li> <li>小学校学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち250字程度から300字程度までの漢字を読んでいる。(ウ(ア))</li> </ul>
--	---	---

【「C 読むこと」の評価規準の設定例】

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
アー1 様々な文章を音読したり朗読したりする言語活動を通した指導		
<ul style="list-style-type: none"> <li>音読や朗読をする文章の内容や表現に関心を持ち、工夫して読もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>語句の意味を理解し想像力を働かせて文章を読み、朗読するときに注意する語句を選んでいる。(ア)</li> <li>文章を朗読するために、登場人物の心情や行動、情景描写に注意して読み、内容の理解を深めている。(ウ)</li> <li>文章の表現の特徴や効果をとらえ、朗読の仕方を考えている。(エ)</li> <li>書き手のものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広げて朗読の仕方を考えている。(オ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>語句の文脈上の意味をとらえ、それが文章の中で果たしている役割を考えながら読んでいる。(イ(イ))</li> <li>多様な語句について理解し、朗読するときにどのように読んだらよいかを考えている。(イ(ウ))</li> <li>表現技法の効果を理解し、朗読に役立てている。(イ(オ))</li> </ul>
アー2 古文や漢文を音読したり朗読したりする言語活動を通した指導		
<ul style="list-style-type: none"> <li>音読や朗読をする古文や漢文の内容や表現に関心を持ち、工夫して読もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>古文や漢文を朗読するために、登場人物の心情や行動、情景描写に注意して読み、内容の理解を深めている。(ウ)</li> <li>古文や漢文の表現の特徴や効果をとらえ、朗読の仕方を考えている。(エ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読して、古典特有のリズムを味わいながら、古典の世界に触れている。(ア(ア))</li> </ul>
イ 文章と図表との関係を考えながら説明の文章を読む言語活動を通した指導		
<ul style="list-style-type: none"> <li>文章と図表との関連をとらえながら、説明の文章を読もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明の文章を読み、文脈に即して語句の意味を的確にとらえ、キーワードを考えている。(ア)</li> <li>説明されている事実と図表との関係を整理し、文章の要旨をとらえている。(イ)</li> <li>説明の文章を展開する上で図表が果たしている役割をとらえ、その効果について自分の考えをもって</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章を読んで意味の分からない語句を辞書で調べ、文脈上の意味を考えている。(イ(イ))</li> <li>説明の文章を読んで自分の考えを書いたり述べたりする際に、より適切な語句を選んでいる。(イ(ウ))</li> <li>説明の文章を読む上で大切な指示語に注意している。(イ(エ))</li> <li>文章に用いられている漢字を正し</li> </ul>

	<p>いる。(エ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>説明されている内容についての書き手のものの見方や考え方をとらえ、自分の考えをもっている。</li> </ul> <p>(オ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関連する説明の文章を読み、文章と図表から必要な情報を得ている。(カ)</li> </ul>	く読んでいる。(ウ(ア))
<p>ウー1 課題に沿って本を読み、必要に応じて引用して紹介する言語活動を通した指導</p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>課題に沿って本を選び、その内容を進んで紹介しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>表題や目次などを参考にして課題に沿った本を選び、必要な情報を読み取っている。(カ)</li> <li>本を紹介するために、文脈に即して語句の意味を的確にとらえている。(ア)</li> <li>本の紹介の仕方に応じて、文章を要約している。(イ)</li> <li>場面の展開や登場人物などの描写に注意して文章を読み、紹介したい部分を決めている。(ウ)</li> <li>文章の構成や展開、表現の特徴などを分析的にとらえ、自分の考えをもって、本を紹介している。(エ)</li> <li>選んだ本の文章に表れているものの見方や考え方について、共感したり疑問をもったりして自分の考えを広げ、本を紹介している。(オ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章を読んで意味の分からない語句を辞書で調べ、文脈上の意味を考えている。(イ(イ))</li> <li>文章に用いられている漢字を正しく読んでいる。(ウ(ア))</li> </ul>
<p>ウー2 古典の文章を読み紹介する言語活動を通した指導</p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>古典の文章に関心を持ち、その内容を進んで紹介しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>古典の文章を紹介するために、文脈に即して語句の意味をとらえている。(ア)</li> <li>紹介の仕方に応じて、文章を要約している。(イ)</li> <li>場面の展開や登場人物などの描写に注意して古典の文章を読み、紹介している。(ウ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>古典には様々な種類の文章があることを理解している。(ア(イ))</li> </ul>

## II 第2学年

### 1 学年目標

- (1) 目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて立場や考えの違いを踏まえて話す能力、考えを比べながら聞く能力、相手の立場を尊重して話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えを広げようとする態度を育てる。
- (2) 目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、構成を工夫して分かりやすく書く能力を身に付けさせるとともに、文章を書いて考えを広げようとする態度を育てる。
- (3) 目的や意図に応じ、文章の内容や表現の仕方に注意して読む能力、広い範囲から情報を集め効果的に活用する能力を身に付けさせるとともに、読書を生活に役立てようとする態度を育てる。



## 2 第2学年の評価の観点の趣旨

国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する認識を深め、話したり聞いたり書いたりして考えを広げ、読書を生活に役立てようとする。	目的や場面に応じ、立場や考えの違いを踏まえて話したり、考えを比べながら聞いたり、相手の立場を尊重して話し合ったりしている。	目的や意図に応じ、構成を工夫し、伝えたいことが効果的に伝わるように文章を書いている。	目的や意図に応じ、内容や表現の仕方に注意して文章を読み、知識や体験と関連付けて自分の考えをもっている。	伝統的な言語文化を楽しんだり、言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し使ったりするとともに、漢字の行書とそれに調和した仮名を書き、楷書又は行書を選んで書いている。

## 3 学習指導要領の内容、内容のまとめりごとの評価規準に盛り込むべき事項及び評価規準の設定例

### (1) 「A 話すこと・聞くこと」

#### 【学習指導要領の内容】

(1) 話すこと・聞くことの能力を育成するため、次の事項について指導する。

ア 社会生活の中から話題を決め、話したり話し合ったりするための材料を多様な方法で集め整理すること。

イ 異なる立場や考えを想定して自分の考えをまとめ、話の中心的部分と付加的部分などに注意し、論理的な構成や展開を考えて話すこと。

ウ 目的や状況に応じて、資料や機器などを効果的に活用して話すこと。

エ 話の論理的な構成や展開などに注意して聞き、自分の考えと比較すること。

オ 相手の立場や考えを尊重し、目的に沿って話し合い、互いの発言を検討して自分の考えを広げること。

・ 関連する〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕を含む。

(2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。

ア 調べて分かったことや考えたことなどに基づいて説明や発表をしたり、それらを聞いて意見を述べたりすること。

イ 社会生活の中の話題について、司会や提案者などを立てて討論を行うこと。

#### 【「A 話すこと・聞くこと」の評価規準に盛り込むべき事項】

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> <li>目的や場面に応じ、立場や考えの違いを踏まえて話したり、考えを比べながら聞いたり、相手の立場を尊重して話し合ったりしようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会生活の中から話題を決め、話したり話し合ったりするための材料を多様な方法で集め整理している。(ア)</li> <li>異なる立場や考えを想定して自分の考えをまとめ、話の中心的部分と付加的部分などに注意し、論理的な構成や展開を考えて話している。(イ)</li> <li>目的や状況に応じて、資料や機器などを効果的に活用して話している。(ウ)</li> <li>話の論理的な構成や展開などに注意して聞き、自分の考えと比較している。(エ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し言葉と書き言葉との違い、共通語と方言の果たす役割、敬語の働きなどについて理解して話したり聞いたりしている。(イ(ア))</li> <li>抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解して話したり聞いたりし、語感を磨き語彙を豊かにしている。(イ(イ))</li> <li>文の中の文の成分の順序や照応、文の構成などについて考えて話したり聞いたりしている。(イ(ウ))</li> <li>単語の活用について理解し、助詞や助動詞などの働きに注意して話</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手の立場や考えを尊重し、目的に沿って話し合い、互いの発言を検討して自分の考えを広げている。(オ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>したり聞いたりしている。(イ(エ))</li> <li>相手や目的に応じて、話の形態や展開に違いがあることを理解して話したり聞いたりしている。(イ(オ))</li> </ul>
--	---	---

【「A 話すこと・聞くこと」の評価規準の設定例】

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
アー1 調べて分かったことについて説明する言語活動を通した指導		
<ul style="list-style-type: none"> <li>調べたり考えたりしたことなどについて、聞き手が理解しやすいように工夫して説明しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な情報手段を活用して材料を集め、説明の目的に応じて整理している。(ア)</li> <li>説明に対する聞き手の意見や質問を予想して、話の中心と付加的な部分との関係に注意し、分かりやすい構成や展開を考えて話している。(イ)</li> <li>分かりやすく説明するために、機器を活用して要点を示したり、写真や図などの資料を活用したりして話している。(ウ)</li> <li>説明を聞いて、話の要点や根拠となっている事実などをとらえ、自分の考えと比較して納得できるかどうか判断している。(エ)</li> <li>説明を聞いて、質疑応答や意見交換をして、自分の考えを広げている。(オ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的や場面に応じ、話し言葉と書き言葉との違い、共通語と方言の果たす役割、敬語の働きなどについて注意して話している。(イ(ア))</li> <li>相手に分かりやすい説明をするために、類義語、対義語などに注意して話している。(イ(イ))</li> <li>相手に分かりやすい説明をするために、文の中の文の成分の順序や照応、文の構成などについて工夫している。(イ(ウ))</li> <li>分かりやすく説明するために、助詞や助動詞などの働きに注意している。(イ(エ))</li> <li>相手や目的に応じて、話の形態や展開に違いがあることを理解して話している。(イ(オ))</li> </ul>
アー2 古典を読んで気付いたことについて発表する言語活動を通した指導		
<ul style="list-style-type: none"> <li>調べたり考えたりしたことなどについて、聞き手が理解しやすいように工夫して説明しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分かりやすく発表するために、機器を活用して話の中心を示したり、写真や図などの資料を活用したりして話している。(ウ)</li> <li>発表を聞いて、質疑応答したり話し合ったりして、古典についての自分の考えを広げている。(オ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像している。(ア(イ))</li> </ul>
イ 社会生活の話題について司会や提案者を立てて討論する言語活動を通した指導		
<ul style="list-style-type: none"> <li>異なる立場の考えを想定して、目的に沿って討論しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>討論に向けて、様々な情報手段を活用して材料を集め、自分の意見を明確にしている。(ア)</li> <li>相手の反論や意見を予想して自分の考えをまとめ、自分の意見と根拠、予想される相手の意見への反論などを組み合わせて話を構成している。(イ)</li> <li>討論の際に説得力を高めるために、機器を活用して自分の意見の</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的や場面に応じ、話し言葉と書き言葉との違い、共通語と方言の果たす役割、敬語の働きなどについて注意している。(イ(ア))</li> <li>説得力のある話をするために、文の中の文の成分の順序や照応、文の構成などについて工夫している。(イ(ウ))</li> <li>相手や目的に応じて、話の形態や展開に違いがあることを理解して</li> </ul>

	<p>要点を示したり、グラフや表などの資料を活用して根拠を示したりしている。(ウ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話の論理的な構成や展開などに注意して要点や根拠などを確かめながら聞き、自分の考えと比較して、賛成や反対などの判断をしている。(エ)</li> <li>・目的に沿って提案や発言の内容を整理して話合いを進行したり、理由や趣旨を明確にして提案したりするなど、討論の進め方を工夫している。(オ)</li> </ul>	<p>いる。(イ(オ))</p>
--	--	------------------

## (2) 「B 書くこと」

### 【学習指導要領の内容】

- (1) 書くこと的能力を育成するため、次の事項について指導する。
- ア 社会生活の中から課題を決め、多様な方法で材料を集めながら自分の考えをまとめること。
  - イ 自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にして、文章の構成を工夫すること。
  - ウ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと。
  - エ 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係などに注意して、読みやすく分かりやすい文章にすること。
  - オ 書いた文章を互いに読み合い、文章の構成や材料の活用の仕方などについて意見を述べたり助言をしたりして、自分の考えを広げること。
    - ・ 関連する〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕を含む。
- (2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。
- ア 表現の仕方を工夫して、詩歌をつくったり物語などを書いたりすること。
  - イ 多様な考えができる事柄について、立場を決めて意見を述べる文章を書くこと。
  - ウ 社会生活に必要な手紙を書くこと。

### 【「B 書くこと」の評価規準に盛り込むべき事項】

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や意図に応じ、構成を工夫し、伝えたいことが効果的に伝わるように文章を書こうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活の中から課題を決め、多様な方法で材料を集めながら自分の考えをまとめている。(ア)</li> <li>・自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にして、文章の構成を工夫している。(イ)</li> <li>・事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書いている。(ウ)</li> <li>・書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係などに注意して、読みやすく分かりやすい文章にしている。(エ)</li> <li>・書いた文章を互いに読み合い、文章の構成や材料の活用の仕方などについて意見を述べたり助言をしたりして、自分の考えを広げている。(オ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し言葉と書き言葉との違い、共通語と方言の果たす役割、敬語の働きなどについて理解して書いている。(イ(ア))</li> <li>・抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解して書き、語感を磨き語彙を豊かにしている。(イ(イ))</li> <li>・文の中の文の成分の順序や照応、文の構成などについて考えて書いている。(イ(ウ))</li> <li>・単語の活用について理解し、助詞や助動詞などの働きに注意して書いている。(イ(エ))</li> <li>・相手や目的に応じて、文章の形態や展開に違いがあることを理解して書いている。(イ(オ))</li> <li>・学年別漢字配当表に示されている</li> </ul>

		漢字を書き、文や文章の中で使っている。(ウ(イ)) [書写] ・漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。(ア) ・目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書いている。(イ)
--	--	---

【「B 書くこと」の評価規準の設定例】

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
ア 表現の仕方を工夫して詩をつくる言語活動を通した指導		
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の感動が読み手に伝わるように、言葉の使い方や構成を工夫して詩をつくろうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>詩をつくるために、身近な体験の中での自分の心の動きをまとめている。(ア)</li> <li>感動の中心を明らかにして、詩の構成を工夫している。(イ)</li> <li>感動の中心が読み手に伝わるように、描写を工夫して詩をつくっている。(ウ)</li> <li>つくった詩を読み返し、描写や全体の構成などに注意して、読み手に感動が伝わりやすい詩にしている。(エ)</li> <li>つくった詩を互いに読み合い、書き手の感動、描写や構成の効果などを観点とした感想を交流し、自分の考えを広げている。(オ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の感動を効果的に表現するために、助詞や助動詞の働きに注意して、詩に使う言葉を決めている。(イ(エ))</li> <li>学年別漢字配当表に示されている漢字を適切に使うとともに、仮名で表現する効果についても考えて詩をつくっている。(ウ(イ))</li> </ul> <p>[書写]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詩を清書する際に、楷書または行書を選んで書いている。(イ)</li> </ul>
イ 多様な考えができる事柄について立場を決めて意見を述べる文章を書く言語活動を通した指導		
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の立場や意見が読み手に伝わるように、根拠を明らかにして文章を書こうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会生活の中から課題を決め、学校図書館等を活用して材料を集め、自分の意見をまとめている。(ア)</li> <li>自分の立場や意見を明らかにして、それを表明する部分を文章のどこに置くかについて考えている。(イ)</li> <li>自分の立場や意見が効果的に伝わるように、根拠を説明したり具体例を用いたりして文章を書いている。(ウ)</li> <li>意見と根拠との関係、文や段落のつながりなどに注意して、読み手に伝わりやすい文章にしている。(エ)</li> <li>書いた文章を互いに読み合い、課題に対する立場や意見の根拠の妥当性、文や段落のつながりなどを観点とした意見を述べ、自分の考</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを明確に表現するために、辞書を活用するなどして、言葉の意味を吟味しながら文章を書いている。(イ(イ))</li> <li>主語と述語や修飾語と被修飾語の照応に注意し、書き手の意図が明確に伝わるように文章を書いている。(イ(ウ))</li> <li>読み手に自分の考えやその根拠などが効果的に伝わるように文章の展開を工夫している。(イ(オ))</li> <li>学年別漢字配当表に示されている漢字を適切に使って文章を書いている。(ウ(イ))</li> </ul>

えを広げている。(オ)		
ウ 社会生活に必要なお礼の手紙を書く言語活動を通じた指導		
<ul style="list-style-type: none"> <li>手紙の形式を整えて、お世話になった相手への感謝の気持ちを表す手紙を書こうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お礼の手紙を書くために、相手に伝えたいことを具体的に挙げている。(ア)</li> <li>相手に伝えたいお礼の内容の中心を明確にし、手紙の形式に沿って構成を考えている。(イ)</li> <li>相手に対する感謝の気持ちが伝わるように、印象に残る出来事やその時の思いを具体的に書いている。(ウ)</li> <li>相手への配慮、言葉の使い方、手紙の形式などに注意して、感謝の気持ちが相手に伝わりやすい手紙にしている。(エ)</li> <li>書いた手紙を互いに読み合い、書き手の気持ちの表現、言葉の使い方などについて意見を述べたり、助言し合ったりしている。(オ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手に対する自分の気持ちが適切に伝わるように、書き言葉における敬語の使い方に注意して文章を書いている。(イ(ア))</li> <li>目上の人に対する手紙を書くために、書式を整えて文章を書いている。(イ(オ))</li> <li>学年別漢字配当表に示されている漢字を適切に使って手紙を書いている。(ウ(イ))</li> </ul> <p>[書写]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して手紙を書いている。(ア)</li> </ul>

### (3) 「C 読むこと」

#### 【学習指導要領の内容】

(1) 読むことのできる能力を育成するため、次の事項について指導する。

ア 抽象的な概念を表す語句や心情を表す語句などに注意して読むこと。

イ 文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること。

ウ 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめること。

エ 文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもつこと。

オ 多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て、自分の考えをまとめること。

・ 関連する〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕を含む。

(2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。

ア 詩歌や物語などを読み、内容や表現の仕方について感想を交流すること。

イ 説明や評論などの文章を読み、内容や表現の仕方について自分の考えを述べること。

ウ 新聞やインターネット、学校図書館等の施設などを活用して得た情報を比較すること。

#### 【「C 読むこと」の評価規準に盛り込むべき事項】

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> <li>目的や意図に応じ、内容や表現の仕方に注意して文章を読み、知識や体験と関連付けて自分の考えをもとうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>抽象的な概念を表す語句や心情を表す語句などに注意して読んでいる。(ア)</li> <li>文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てている。(イ)</li> <li>文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめている。(ウ)</li> <li>文章に表れているものの見方や考</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界を楽しんでいる。(ア(ア))</li> <li>古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像している。(ア(イ))</li> <li>話し言葉と書き言葉との違い、共通語と方言の果たす役割、敬語の働きなどについて理解して読んでいる。(イ(ア))</li> <li>抽象的な概念を表す語句、類義語</li> </ul>

	<p>え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもっている。 (エ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て、自分の考えをまとめている。(オ)</li> </ul>	<p>と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解して読み、語感を磨き語彙を豊かにしている。(イ(イ))</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文の中の文の成分の順序や照応、文の構成などについて考えて読んでいる。(イ(ウ))</li> <li>単語の活用について理解し、助詞や助動詞などの働きに注意して読んでいる。(イ(エ))</li> <li>相手や目的に応じて、文章の形態や展開に違いがあることを理解して読んでいる。(イ(オ))</li> <li>第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から350字程度までの漢字を読んでいる。(ウ(ア))</li> </ul>
--	--	---

【「C 読むこと」の評価規準の設定例】

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
アー1 物語を読み、内容や表現の仕方について感想を交流する言語活動を通した指導		
<ul style="list-style-type: none"> <li>物語について感想をもち、交流して考えを深めようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>心情や情景を表す語句について、体験や読書経験を生かして理解し、自分の感想をもっている。(ア)</li> <li>描写の効果や登場人物の言動の意味などを考えて物語の内容を理解し、自分の感想をもっている。(イ)</li> <li>感想を交流するために、物語の構成や展開、描写や比喩などの表現について、具体的な部分を取り上げて考えをまとめている。(ウ)</li> <li>物語に表れているものの見方や考え方について、自分の知識や経験と関連付けて感想をまとめ、交流して深めている。(エ)</li> <li>図書館などを利用して関連する資料などを読み、自分の感想をまとめるのに役立てている。(オ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し言葉と書き言葉との違い、共通語と方言の果たす役割、敬語の働きなどについての理解を、文章を読むことに役立てている。(イ(ア))</li> <li>文章を読む際に、抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などに注意している。(イ(イ))</li> <li>物語によって文章の形態や展開に違いがあることを意識しながら読んでいる。(イ(ウ))</li> <li>文章に用いられている漢字を正しく読んでいる。(ウ(ア))</li> </ul>
アー2 古文や漢文を読み感想を交流する言語活動を通した指導		
<ul style="list-style-type: none"> <li>古文や漢文について感想をもち、交流して考えを深めようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>描写の効果や登場人物の言動の意味などを考えて古文や漢文の内容を理解し、自分の感想をもっている。(イ)</li> <li>感想を交流するために、古文や漢文の構成や展開、描写や比喩などの表現について、具体的な部分を取り上げて考えをまとめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界を楽しんでいる。(ア(ア))</li> </ul>

	(ウ)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>古文や漢文に表れているものの見方や考え方について、自分の知識や経験と関連付けて感想をまとめ、交流して深めている。(エ)</li> </ul>	

イ 評論の文章を読み、内容や表現の仕方について自分の考えを述べる言語活動を通した指導

<ul style="list-style-type: none"> <li>評論の文章を読んで内容や表現の仕方について考え、自分のものの見方や考え方を広げようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>評論の文章を読んで自分の考えを述べるために、論の展開の上で重要な役割を果たしている語句に注意しながら読んでいる。(ア)</li> <li>評論の文章を読んで自分の考えを述べるために、各段落が文章全体の中で果たしている役割をとらえたり、叙述の順序に注意して読みだりして、内容の理解に役立てている。(イ)</li> <li>評論の文章を読んで、文章の構成や展開の工夫について、根拠となる部分をあげて自分の考えをもっている。(ウ)</li> <li>評論の文章を読んで、物事の善し悪しや価値等に関する書き手の考え方について、自分の知識や体験と関連付けながら考えをもっている。(エ)</li> <li>評論の文章のテーマについて、自分の考えを補強したり修正したりするために、図書館や情報通信ネットワークなどを活用して情報を探している。(オ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>評論の文章を読む際に、重要な役割を果たしている抽象的な概念を表す語句に着目し、その語句が表す具体的な中身を考えている。(イ(イ))</li> <li>評論の文章を読む際に、意味の取りにくい文について、主語と述語の照応、修飾語と被修飾語の照応を明らかにしながら理解している。(イ(ウ))</li> <li>文章に用いられている漢字を正しく読んでいる。(ウ(ア))</li> </ul>
---	--	--

ウ 新聞で得た情報とインターネットで得た情報とを比較する言語活動を通した指導

<ul style="list-style-type: none"> <li>新聞とインターネットで得た情報を読み、情報の特徴について考えを深めようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の特徴を考えるために、新聞とインターネットの記事について、抽象的な概念を表す語句や書き手の思いを表す語句に注意して読んでいる。(ア)</li> <li>情報の特徴を考えるために、新聞とインターネットの記事について、見出しと本文との関係、例示の効果等を比較して読んでいる。(イ)</li> <li>新聞とインターネットの記事について、文章の構成や表現の仕方に着目し、具体的な箇所を引用しながら情報の特徴の違いをまとめている。(ウ)</li> <li>情報の特徴について、自分の知識や体験と関連付けながら考えをまとめている。(エ)</li> <li>自ら設定した課題について複数の方法で得た情報を比較し、目的や</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新聞とインターネットに出てくる抽象的な概念を表す語句や多義的な意味を表す語句について理解している。(イ(イ))</li> <li>見出しなどにおける助詞や助動詞の効果について考えている。(イ(エ))</li> <li>新聞とインターネットにおける文章の形態や展開の違いについて考えている。(イ(オ))</li> <li>文章に用いられている漢字を正しく読んでいる。(ウ(ア))</li> </ul>
---	---	--

	意図に応じて選択して自分の考えをまとめている。(オ)	
--	----------------------------	--

### Ⅲ 第3学年

#### 1 学年目標

- (1) 目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて相手や場に応じて話す能力、表現の工夫を評価して聞く能力、課題の解決に向けて話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えを深めようとする態度を育てる。
- (2) 目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、論理の展開を工夫して書く能力を身に付けさせるとともに、文章を書いて考えを深めようとする態度を育てる。
- (3) 目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方などを評価しながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して自己を向上させようとする態度を育てる。

#### 2 第3学年の評価の観点の趣旨

国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する認識を深め、話したり聞いたり書いたりして考えを深め、読書を通して自己を向上させようとする。	目的や場面に応じ、相手の様子に合わせて話したり、表現の工夫を評価して聞いたり、課題の解決に向けて話し合ったりしている。	目的や意図に応じ、文章の形態を選択し、論理の展開を工夫して説得力のある文章を書いている。	目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方などを評価しながら読み、人間、社会、自然などについて自分の意見をもっている。	伝統的な言語文化に親しんだり、言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し使ったりするとともに、身の回りの文字に関心をもち、効果的に文字を書いている。

#### 3 学習指導要領の内容、内容のまとめりごとの評価規準に盛り込むべき事項及び評価規準の設定例

##### (1) 「A 話すこと・聞くこと」

###### 【学習指導要領の内容】

- (1) 話すこと・聞くこと的能力を育成するため、次の事項について指導する。
  - ア 社会生活の中から話題を決め、自分の経験や知識を整理して考えをまとめ、語句や文を効果的に使い、資料などを活用して説得力のある話をする。
  - イ 場の状況や相手の様子に応じて話すとともに、敬語を適切に使うこと。
  - ウ 聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分のものの見方や考え方を深めたり、表現に生かしたりすること。
  - エ 話合いが効果的に展開するように進行の仕方を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かしながら話し合うこと。
    - ・ 関連する〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕を含む。
- (2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。
  - ア 時間や場の条件に合わせてスピーチをしたり、それを聞いて自分の表現の参考にしたりすること。
  - イ 社会生活の中の話題について、相手を説得するために意見を述べ合うこと。

###### 【「A 話すこと・聞くこと」の評価規準に盛り込むべき事項】

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
・目的や場面に応じ、相手の様子に合わせて話した	・社会生活の中から話題を決め、自分の経験や知識を整理して考えを	・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いを理解して話



<p>り、表現の工夫を評価して聞いたり、課題の解決に向けて話し合ったりしようとしている。</p>	<p>まとめ、語句や文を効果的に使い、資料などを活用して説得力のある話をしている。(ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>場の状況や相手の様子に応じて話すとともに、敬語を適切に使っている。(イ)</li> <li>聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分のものの見方や考え方を深めたり、表現に生かしたりしている。(ウ)</li> <li>話合いが効果的に展開するように進行の仕方を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合っている。(エ)</li> </ul>	<p>すとともに、敬語を社会生活の中で適切に使っている。(イ(ア))</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>慣用句・四字熟語などに関する知識を広げ、和語・漢語・外来語などの使い分けに注意して話し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(イ(イ))</li> </ul>
--	--	---

【「A 話すこと・聞くこと」の評価規準の設定例】

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
<p>ア 時間や場の条件に合わせてスピーチをしたり、それを聞いて自分の表現の参考にしたりする言語活動を通じた指導</p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>社会生活の中の様々な話題に関心をもち、スピーチを通して、自分の意見や感想を聞き手が納得できるように伝えようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会生活にかかわる話題についてスピーチをするために、これまでの学習や体験を踏まえて自分の意見や感想をまとめている。(ア)</li> <li>自分の考えについて説得力を増すために、話し方を工夫したり資料などを活用したりしてスピーチをしている。(ア)</li> <li>聞き手の人数や立場、会場の様子などの条件に応じて話し方や言葉遣いを工夫したり、聞き手の反応に応じて言い換えたりしながらスピーチをしている。(イ)</li> <li>スピーチを聞いて、話の内容についての賛否や話し方についての適否などを判断し、自分のものの見方や考え方を深めたり、自分の話し方の参考にしたりしている。(ウ)</li> <li>スピーチを聞いて、質疑応答や意見交換をして、話題についての考えを深めている。(エ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会生活における敬語の役割を理解して話している。(イ(ア))</li> <li>目的に応じて、和語・漢語・外来語などの使い分けに注意してスピーチをしている。(イ(イ))</li> </ul>
<p>イ 社会生活の中の話題について、相手を説得するために意見を述べ合う言語活動を通じた指導</p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>社会生活の中の話題に関心をもち、課題の解決に向けて積極的に話し合い、互いの意見や考えを生かそうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手を説得するために、根拠を明確にしたり、聞き手の理解を助ける工夫をしたりしている。(ア)</li> <li>他の人の意見や考えを踏まえるとともに、場に応じた言葉遣いで自分の意見を述べている。(イ)</li> <li>他の人の意見のよいところを指摘</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設的に話し合えるよう、敬語など言葉遣いに注意している。(イ(ア))</li> </ul>

	<p>したり，調整の仕方を提案したりしながら，自分の意見を見直したり深めたりしている。(ウ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の解決に向けて，より多くの発言を求めたり，意見の調整の仕方を提案したりするなど，話合いの進め方を工夫して話し合っている。(エ)</li> </ul>	
--	---	--

## (2) 「B 書くこと」

### 【学習指導要領の内容】

(1) 書くこと的能力を育成するため，次の事項について指導する。

ア 社会生活の中から課題を決め，取材を繰り返しながら自分の考えを深めるとともに，文章の形態を選択して適切な構成を工夫すること。

イ 論理の展開を工夫し，資料を適切に引用するなどして，説得力のある文章を書くこと。

ウ 書いた文章を読み返し，文章全体を整えること。

エ 書いた文章を互いに読み合い，論理の展開の仕方や表現の仕方などについて評価して自分の表現に役立てるとともに，ものの見方や考え方を深めること。

- ・ 関連する〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕を含む。

(2) (1)に示す事項については，例えば，次のような言語活動を通して指導するものとする。

ア 関心のある事柄について批評する文章を書くこと。

イ 目的に応じて様々な文章などを集め，工夫して編集すること。

### 【「B 書くこと」の評価規準に盛り込むべき事項】

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目的や意図に応じ，文章の形態を選択し，論理の展開を工夫して説得力のある文章を書こうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会生活の中から課題を決め，取材を繰り返しながら自分の考えを深めるとともに，文章の形態を選択して適切な構成を工夫している。(ア)</li> <li>・ 論理の展開を工夫し，資料を適切に引用するなどして，説得力のある文章を書いている。(イ)</li> <li>・ 書いた文章を読み返し，文章全体を整えている。(ウ)</li> <li>・ 書いた文章を互いに読み合い，論理の展開の仕方や表現の仕方などについて評価して自分の表現に役立てるとともに，ものの見方や考え方を深めている。(エ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いを理解して書くとともに，敬語を社会生活の中で適切に使っている。(イ(7))</li> <li>・ 慣用句・四字熟語などに関する知識を広げ，和語・漢語・外来語などの使い分けに注意して書き，語感を磨き語彙を豊かにしている。(イ(1))</li> <li>・ 学年別漢字配当表に示されている漢字について，文や文章の中で使い慣れている。(ウ(1))</li> </ul> <p>[書写]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身の回りの多様な文字に関心を持ち，効果的に文字を書いている。(ア)</li> </ul>

### 【「B 書くこと」の評価規準の設定例】

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
ア 関心のある事柄について批評する文章を書く言語活動を通じた指導		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会生活の中の事柄について，自分の立場や意見を明確にして批評する文</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 複数の資料を集めたり取材を繰り返したりして，批評にあたっての自分の立場や意見の中心を明確に</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 和語・漢語・外来語の言葉のニュアンスを知り，適切な語句を選択している。(イ(1))</li> </ul>

<p>章を書こうとしている。</p>	<p>している。(ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>判断や評価の理由や根拠となる適切な資料を引用して、説得力のある批評の文章を書いている。(イ)</li> <li>論理の展開が明確な批評の文章になるように、判断や評価の理由や資料の引用が適切かどうかを考えて、文章全体を整えている。(ウ)</li> <li>書いた批評の文章を読み合い、結論に導くための根拠の取り上げ方や論理の展開の仕方について評価し、自分のものの見方や考え方を深めている。(エ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年別漢字配当表に示されている漢字を適切に使って文章を書いている。(ウ(イ))</li> </ul>
<p>イー１ 様々な文章を集め、工夫して文集を編集する言語活動を通した指導</p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>テーマに即して様々な文章を集め、進んで文集にまとめようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テーマに即した文集を作るために、自分の課題を決め、今まで書いた文章や関連する資料などを集めている。(ア)</li> <li>集めた文章や資料を整理しながら自分の考えを深め、文集の構成を工夫している。(ア)</li> <li>集めた文章や資料を適切に組み合わせながら全体の構成を工夫し、読み手を引きつける文集を編集している。(イ)</li> <li>編集した文集を読み返し、テーマに対する自分の考えが効果的に伝わるよう、全体の構成を見直したり、見出しや目次を付けたりして、文集の体裁を整えている。(ウ)</li> <li>文集を互いに読み合い、全体の構成の仕方や表現の仕方などについて評価し、自分の表現に役立てている。(エ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読み手を想定して、必要な箇所敬語を適切に使って書いている。(イ(ア))</li> <li>自分の意見や考えを最も効果的に表現するために、慣用句や四字熟語を活用したり、和語・漢語・外来語を使い分けたりして書いている。(イ(イ))</li> <li>学年別漢字配当表に示されている漢字を適切に使って文章を書いている。(ウ(イ))</li> </ul> <p>[書写]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文集の見出しや本文等に応じて、書体を使い分けたり筆記具を工夫したりして書いている。(ア)</li> </ul>
<p>イー２ 古典を含む様々な文章を集め、工夫して文集を編集する言語活動を通した指導</p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>テーマに即して様々な文章を集め、進んで文集にまとめようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体の構成を工夫し、古典の原文や現代語訳等を適切に引用するなどして、テーマに即した文集を編集している。(イ)</li> <li>文集を互いに読み合い、全体の構成の仕方や引用の仕方などについて評価し、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方や考え方を深めている。(エ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文集のテーマに即して古典の一節を引用し、それについての自分の考えや感想などを書いている。(ア(イ))</li> </ul>

### (3) 「C 読むこと」

#### 【学習指導要領の内容】

(1) 読むことのできる能力を育成するため、次の事項について指導する。

ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。

イ 文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。

- ウ 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること。
  - エ 文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつこと。
  - オ 目的に応じて本や文章などを読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりすること。
    - ・ 関連する〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕を含む。
- (2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。
- ア 物語や小説などを読んで批評すること。
  - イ 論説や報道などに盛り込まれた情報を比較して読むこと。
  - ウ 自分の読書生活を振り返り、本の選び方や読み方について考えること。

【「C 読むこと」の評価規準に盛り込むべき事項】

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方などを評価しながら読み、人間、社会、自然などについて自分の意見をもとうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読んでいる。(ア)</li> <li>・ 文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てている。(イ)</li> <li>・ 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価している。(ウ)</li> <li>・ 文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもっている。(エ)</li> <li>・ 目的に応じて本や文章などを読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりしている。(オ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歴史的背景などに注意して古典を読み、その世界に親しんでいる。(ア(ア))</li> <li>・ 古典の一節を引用するなどして、古典に関する簡単な文章を書いている。(ア(イ))</li> <li>・ 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いを理解して読んでいる。(イ(ア))</li> <li>・ 慣用句・四字熟語などに関する知識を広げ、和語・漢語・外来語などの使い分けに注意して読み、語感を磨き語彙を豊かにしている。(イ(イ))</li> <li>・ 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。(ウ(ア))</li> </ul>

【「C 読むこと」の評価規準の設定例】

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
アー1 小説を読んで批評する言語活動を通じた指導		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小説を読み、展開や表現の仕方を評価して自分の考えを深めようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小説を読んで批評するために、語句の用い方の効果など、表現上の工夫に注意して読んでいる。(ア)</li> <li>・ 小説を読んで批評するために、場面や登場人物の設定の仕方をとらえて、文章全体の理解を深めている。(イ)</li> <li>・ 他の小説と読み比べて、構成や展開、表現の仕方の違いに気付き、文章の形式の特徴や効果について評価している。(ウ)</li> <li>・ 小説を読んで、文章に表れているものの見方や考え方の違いを整理し、人間、社会、自然などについて自分の意見をもっている。(エ)</li> <li>・ 同じ作家の複数の小説、類似したテーマの小説等を読み比べるなど</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小説が書かれた時代の言葉の意味や使われ方に着目し、時間の経過による言葉の変化に注意して読んでいる。(イ(ア))</li> <li>・ 文章に用いられている漢字を正しく読んでいる。(ウ(ア))</li> </ul>

	<p>して、新しい魅力を知ったり自分の考えを深めたりしている。(オ)</p>	
<p>アー２ 古文や漢文などを様々な見方で読み味わう言語活動を通した指導</p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>古文や漢文を読み、様々な見方で読み味わって自分の意見をもとうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>古文や漢文を様々な観点で読み味わうために、場面や登場人物の設定の仕方をとらえて、文章全体の理解を深めている。(イ)</li> <li>古文や漢文を読んで、文章に表れているものの見方や考え方の違いを整理し、人間、社会、自然などについて自分の意見をもっている。(エ)</li> <li>同じ作品の中の複数の文章、類似したテーマの文章等を読み比べるなどして、新しい魅力を知ったり自分の考えを深めたりしている。(オ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史的背景などに注意して古典を読み、その世界に親しんでいる。(ア(7))</li> </ul>
<p>イ 報道された情報を比較して読む言語活動を通した指導</p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>報道された情報に関心をもち、進んで比較して読んで、自分の考えをもとうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>報道された情報を比較して自分の考えをもつために、語句の使い方など書き手の工夫に注意して読んでいる。(ア)</li> <li>報道された情報を比較して自分の考えをもつために、文章の論理の展開の仕方をとらえて内容を的確に理解している。(イ)</li> <li>報道された情報について、構成や展開、表現の仕方などの特徴や効果をまとめ、評価している。(ウ)</li> <li>報道された情報を比較し、述べられている内容について、立場を明らかにして自分の意見をもっている。(エ)</li> <li>報道された情報に関連した本や文章を図書館などで探して読み、知識を広げたり自分の考えを深めたりしている。(オ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新聞や雑誌等に盛り込まれた情報を読む際に、和語・漢語・外来語などの使い分けに注意している。(イ(4))</li> <li>新聞や雑誌等の文章に用いられている漢字を正しく読んでいる。(ウ(7))</li> </ul>
<p>ウ 自分の読書生活を振り返り、本の選び方や読み方について考える言語活動を通した指導</p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の読書生活に関心をもち、今まで読んでいなかった分野の本を進んで探して読もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の読書生活を振り返るために、今まで読んできた本の中の印象的な語句を挙げている。(ア)</li> <li>自分の読書生活を振り返るために、今まで読んできた本の中の数冊について、内容を簡潔にまとめている。(イ)</li> <li>自分の読書生活を振り返るために、今まで読んできた本の中の数冊を取り上げ、構成や展開、表現の仕方に着目しながら比較し、分</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに注意して文章を読んでいる。(イ(7))</li> <li>文章に用いられている漢字を正しく読んでいる。(ウ(7))</li> </ul>

析している。(ウ)

- 自分の読書生活を振り返るために、今まで読んできた本の中の数冊を取り上げ、本から受けた影響や感動について、自分の考えをまとめている。(エ)
- 今まで読んでいなかった分野の本を読み、今後の読書生活の方向性について考えている。(オ)